

GIS A NEWS LETTER

地理情報システム学会ニューズレター 第75号

発行日 ● 2010年8月31日
発行 ● 地理情報システム学会事務局

目次

第19回研究発表大会のご案内	1p	学会からのお知らせ	8p
第19回研究発表大会プログラム概要	2p	委員会報告	8p
第19回研究発表大会プログラム	3p	支部報告、学会後援・協賛行事などのお知らせ	9p
昼食の予約と事前受付について	7p	事務局からのお知らせ	9p
大会発表賞、機器展示	8p		

第19回研究発表大会のご案内

本年度も、地理情報システム学会研究発表大会が開催されます。本年度は京都・立命館大学を会場とし、発表総数は145（ポスターセッションを含む）と、一昨年、昨年と同規模の大きな大会となります。

本年度は、例年通りの研究発表セッションに加え、特別講演、シンポジウム、及び特別セッションをご用意しております。特別講演では、岡部篤行 教授（青山学院大学、日本）、Sung-Ryong Ha 教授（Chungbuk National University、韓国）、Michael Batty 教授（CASA, UCL, UK）、Michael Goodchild 教授（NCGIA, UCSB, USA）の4氏をお招きし、「世界の地理情報システムと地理情報科学の最新動向」と題したお話を頂く予定です。また、本年度は、日韓国際シンポジウムの日本開催年に相当し、16の研究発表が行われます。さらに特別セッションでは、FOSS4G 利用例紹介、科研プロジェクト「地理情報科学標準カリキュラムに基づく地理空間的思考の教育方

法・教材開発研究」、保健医療 GIS 研究の展開、の3つが企画されます。

研究発表大会の詳しい内容につきましては、後述のプログラムをご覧ください。大会規模が大きくなり、本年度は5つのセッションが並行して実施されますので、ご興味のありますセッションや発表を予め調べておかれることをお勧めいたします。但し、掲載されておりますプログラムは8月初旬現在のものであり、学会当日までに変更される可能性があります。最新のプログラムにつきましては、学会ホームページ及び当日の大会会場における掲示をご覧ください。

会長挨拶、各賞表彰式等は、初日懇親会にて開催されます。優秀発表賞の受賞者発表は、大会2日目の閉会式にて行う予定です。また機器展示及びポスターセッションは会場1階広場にて行われます。こちらの方へも、奮ってのご参加をお待ちしております。

会場案内 ー立命館大学 衣笠キャンパスー

日時：2010年10月23日（土）9:00～、24日（日）9:00～

受付：清心館1F

- ・受付開始時間は、両日とも午前8時15分～最終セッション開始時刻までです。初日朝は、受付が大変混雑いたしますので、講演者はお早めにご来場のうえ、受付をお済ませ下さい。

会場：立命館大学 衣笠キャンパス 清心館

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 TEL 075-465-8149
地図等は http://www.ritsumei.jp/accessmap/accessmap_kinugasa_j.html です。（2頁参照）

- ・JR・近鉄京都駅より市バス50号系統（B2のりば）に乗り、「立命館大学前（終点）」バス停下車。所要時間：40～50分。
- JR・地下鉄二条駅より市バス15,55系統に乗り、「立命館大学前（終点）」バス停下車すぐ。所要時間：約15分。

講演論文集：CD-R 1枚2,000円

※発表会場にご入場の際には、受付でお渡しする名札をご呈示下さい。

大会参加費：

正会員または賛助会員枠の参加者	2,000円
学生会員	1,000円
非会員（一般：大学院生以上）	4,000円
非会員（大学学部生）	1,000円
高校生以下、70歳以上	無料

- ・国際シンポジウムと機器展示は無料で入場可能です。
- ・当日は、領収書を発行いたします。つり札のないようお願いいたします。
- ・一般・大学院生以外の非会員は、必ず、学生証または年齢を証明するものをご呈示ください。

懇親会：2010年10月23日（土）18:45～20:45

会場 Tawawa 二条店（立命館大学朱雀キャンパス7F：大会会場とは違うキャンパスです）
参加費 6,000円

【第 19 回研究発表大会プログラム概要】

日 時		第 1 会場 507 教室	第 2 会場 508 教室	第 3 会場 501 教室	第 4 会場 502 教室	第 5 会場 503 教室	大会場 (創思館)	1 階 ロビー
第 一 日 目 一 〇 月 三 日 (土)	9:00 - 10:20	Session 1A GIS 教育	Session 2A 景観	Session 3A 自治体 1	Session 4A 自然・環境 1	Session 5A 防災・防犯 1		機 器 展 示
	10:20 - 10:30	休憩						
	10:30 - 11:50	Session 1B 日韓合同 1 自然・環境	Session 2B 日韓合同 2 防災・安全	Session 3B 自治体 2	Session 4B 自然・環境 2	Session 5B 防災・防犯 2		
	11:50 - 13:00	昼休み						
	13:00 - 13:30	地域の安全安心マップコンテスト表彰式						
	15:30 - 15:50	招待講演						
	15:50 - 16:00	休憩						
	16:00 - 17:40	Session 1C 日韓合同 3 データベース ・アルゴリズム	Session 2C 日韓合同 4 都市・地域 解析	Session 3C データ変換 ・可視	Session 4C システム 構築	Session 5C 歴史・考古		
	17:40 - 18:45	移動						
	18:45 - 20:45	懇親会 (朱雀キャンパス)						

日 時		第 1 会場 507 教室	第 2 会場 508 教室	第 3 会場 501 教室	第 4 会場 502 教室	第 5 会場 503 教室	1 階 ロビー	1 階 ロビー	
第一日目 一〇月二四日(日)	9:00 - 10:40	Session 1D 特別セッション FOSS4G 利用例紹介	Session 2D データ構造 アルゴリズム	Session 3D データ取得 ・精度 1	Session 4D 自然・環境 3	Session 5D 土地利用 都市解析		機 器 展 示	
	10:40 - 10:50	休憩							
	10:50 - 12:30	Session 1E 特別セッション 科研プロジェ クト紹介	Session 2E 都市構造 広域分析	Session 3E データ取得 ・精度 2	Session 4E 自然・環境 4	Session 5E ポスター紹介			
	12:30 - 13:30	昼休み					ポスター セッション		
	13:30 - 15:30	Session 1F 特別セッション 保健医療 GIS 研究の展開 1	Session 2F 経済・商業 1	Session 3F 観光	Session 4F 空間移動 空間認知	Session 5F 防災・防犯 3			
	15:30 - 15:40	休憩							
	15:40 - 17:20	Session 1G 特別セッション 保健医療 GIS 研究の展開 2	Session 2G 経済・商業 2	Session 3G 施設配置	Session 4G 居住・ コミュニティ	Session 5G 防災・防犯 4			
	17:20 - 17:30	休憩							
	17:30 - 18:00	閉会式 受賞式							

第19回研究発表大会プログラム

GISA大会発表申込書に依る
(発表者は最初に記載 敬称略)

第1日目:10月23日(土) 大会場(創思館)

13:00~13:30 第4回 地域の安全安心マップコンテスト表彰式

13:30~13:50 招待講演(同時通訳付き)

世界の地理情報システムと地理情報科学の最新動向

□ユビキタス時空間情報革命

岡部篤行 教授(青山学院大学, 日本)

□現代韓国社会における地理情報システムの変容

Sung-Ryong Ha 教授(Chungbuk National University, 韓国)

□GISにおける表現とシミュレーション:新出現の傾向と新手法

Michael Batty 教授(CASA, UCL, UK)

□地理情報システムの新しい局面

Michael Goodchild 教授(NGIA, UCSB, USA)

第1日目:10月23日(土) 第1会場:507教室

9:00~10:20 Session 1A GIS教育

司会:太田 守重

1A-1 地域課題の解決に向けたGIS人材育成プログラムの研究

今井 修

1A-2 韓国におけるオンライン・オフラインGIS教育

李 召熙・小口 高

1A-3 原爆痕跡のフィールドワークと地図作成ワークショップによる広島平和学習

竹崎 嘉彦・岩井 哲・太田 弘・川瀬 正樹・崎 将智・佐々木 緑

1A-4 TINとボロノイの重ね合わせルールによる等高線から尾根線・谷線を抽出するフリーソフトウェアの紹介と評価

尾野 久二

10:50~12:30 Session 1B 日韓合同セッション1(自然・環境)

司会:柴崎 亮介

1B-1 Harbor Structures Modeling Using Multibeam Echo Sounder Data

Doo-Sung KIM

1B-2 Integration Of GIS And Multicriteria Evaluation For Cropland Allocation In The Tam Dao National Park Region, Vietnam

Duong Dang KHOI and Yuji MURAYAMA

1B-3 A Study On The Administration Estimates of Water Use

Yong-Min LIM

1B-4 Geomorphology And GIS: A Review With An Emphasis On Japanese Classic Morphometric Studies

Takashi OGUCHI

16:00~17:40 Session 1C 日韓合同セッション3

(データベース・アルゴリズム) 司会:倉田 陽平

1C-1 Fast Optimal Sequenced Route Query Algorithm

Htoo HTOO, Yutaka OHSAWA and Noboru SONEHARA

1C-2 Comparison Of Wireless Transmission Characteristics Between Zigbee Module And Magnetic Field Area Network (MFAN)

Jin-Hyun CHOO

1C-3 High-Resolution Urban Area Mapping Of World's Cities Using Satellite Images

Hirokyu MIYAZAKI, Koki IWAO, and Ryosuke SHIBASAKI

1C-4 Study On Advantage Of MFAN Technology For GIS

Yoon-Seuk OH

GISA-NL No.75 (2010/8/31)

第1日目:10月23日(土) 第2会場:508教室

9:00~10:20 Session 2A 景観

司会:若林 芳樹

2A-1 大阪市における緑の拠点とネットワーク

荒木 実穂・吉川 眞・田中 一成

2A-2 都市空間における夕暮れ要素の抽出-建築物のガラス窓に着目して-

杉山 剛・田中 一成・吉川 眞

2A-3 MMSデータを用いたデジタルシティの構築に向けて

天野 貴文・吉川 眞

2A-4 京町家GISデータベースの構築とその活用

飯塚 隆藤・松本 文子・瀬戸 寿一・西 天平・矢野 桂司

10:50~12:30 Session 2B 日韓合同セッション2(防災・安全)

司会:浅見 泰司

2B-1 Urban Growth Simulation Considering Disaster Risk in Provincial Cities

Kojiro WATANABE

2B-2 Spatial Implications Of Using Euclidean Distance In Predicting The Use Of Oriental Medicine Hospital

Kwang-Soo LEE and Jeong-Soo LEE

2B-3 Prototype Modeling Of Information Sharing System

For Evacuation Support For Vulnerable Citizens In Disasters

Hajime KAWAMUKAI, Haruhiko NISHIMURA and Isao SHIRAKAWA

2B-4 Spatial Analysis And Public Participation System For Crime Presevention

Tae-Heon MOON

16:00~17:40 Session 2C 日韓合同セッション4(都市・地域解析)

司会:小口 高

2C-1 Spatial Evolutionary Modelling In Zone Design For Location-Allocation Modelling

Young-Hoon KIM

2C-2 Commuting And Urban Spatial Structure For Reducing Carbon Dioxide Emission In Seoul City

Sohee LEE and Tsutomu SUZUKI

2C-3 The Development Of Marketing Information Service Platform Using Open API

Myung-Hee JO

2C-4 Spatial Modeling Of Urban Dynamics In The Kathmandu Valley, Nepal

Rajesh Bahadur THAPA and Yuji MURAYAMA

第1日目:10月23日(土) 第3会場:501教室

9:00~10:20 Session 3A 自治体1

司会:阪田 知彦

3A-1 AED電子マップの効果的活用法に関する研究

鶴成 悦久・山崎 利夫・市園 成一郎・庄村 幸輝

3A-2 時空間データベース処理による自律情報協調型自治体システムの研究

角本 繁・古戸 孝・畑山 満則・

一宮 龍彦・小杉 幸夫・吉川 耕司・佐藤 優

3A-3 自治体情報システムを支える時空間情報処理基盤の開発

古戸 孝・角本 繁

3A-4 情報システムを活用した口蹄疫問題への対応

一宮 龍彦・渡部 正騎・小林 智一・一宮 龍彦・佐藤 優・玉置 昌史・角本 繁

10:50~12:30 Session 3B 自治体 2 司会:角本 繁

- 3B-1 都市計画基礎調査に関する空間データ製品仕様書の試作
阪田 知彦
- 3B-2 Applications of GIS for Urban Development and Housing in Ulan Bator city, Mongolia
Amarbaysgalan Amarsanaa・張 長平
- 3B-3 発展過程を経た自治体 GIS における固定資産税部門での利用に関する考察
青木 和人
- 3B-4 クラウド時代に向けた空中写真の共同整備に関する費用分担の検討 ―熊本都市圏域をケーススタディとして
大伴 真吾・山本 耐太・松下 博俊・中村 秀至・関本 義秀

16:00~17:40 Session 3C データ変換・可視 司会:鳥海 重喜

- 3C-1 平滑化による P T データの時空間内挿の高精度化
渡邊 淳人・中村 敏和・薄井 智貴・関本 義秀・柴崎 亮介
- 3C-2 空間統計モデルに基づく面補間法の提案
村上 大輔・堤 盛人
- 3C-3 重ね合わせの神話と文献翻訳のたとえ話
寺木 彰浩
- 3C-4 建物ポリゴンの形状に関する特徴量とその傾向 - 基盤地図情報を用いたケーススタディ -
久保 一輝・寺木 彰浩
- 3C-5 非連続面積カルトグラム作成問題の新解法
井上 亮

第1日目:10月23日(土) 第4会場:502教室

9:00~10:20 Session 4A 自然・環境 1 司会:山本 佳世子

- 4A-1 湖沼連続水温測定のためのセンサネットワークとその動作結果
尾瀨 照一・菅原 新一・牧野 秀夫
- 4A-2 地理情報標準および専門用語集を用いた地球観測データの分野横断の利用支援システムの開発
小野 雅史・長井 正彦・杉本 賢二・柴崎 亮介
- 4A-3 三方湖自然再生に向けた情報プラットフォームの開発
熊谷 潤・長井 正彦・柴崎 亮介・松原 剛
- 4A-4 Google Earth による簡単でわかりやすい生物多様性情報の提供
山田 秀之・松永 義徳・浦山 利博・田巻 豊・山田 陽子・清水 乙彦

10:50~12:30 Session 4B 自然・環境 2 司会:山田 秀之

- 4B-1 上信越高原国立公園鹿沢園地における FOSS4G の活用 ―Open Cafe System を用いた国立公園の利用と管理
中村 和彦・福本 豊・杉浦 史門・中山 かなえ・齋藤 仁・古橋 大地・武 正憲・斎藤 馨・中山 悠
- 4B-2 水環境分野における Web-GIS の相互運用環境構築の試み ―Open Cafe System (OCS) を用いた FOSS4G の活用―
福本 豊・岡内 俊太郎・中村 和彦・中山 悠・古橋 大地・佐山 公一・小川 耕・原 昇平・菊池 風奈・風間 ふたば
- 4B-3 精緻な土地被覆データに基づいた透水面分布の空間的な連続性について
熊谷 樹一郎・中島 善彰
- 4B-4 GIS を用いた Horton 解析による流域地形の特性
五十里 和也・卯田 強

16:00~17:40 Session 4C システム構築 司会:嘉山 陽一

- 4C-1 3次元ステレオ画像計測のための OGC WMS の拡張
野中 秀樹・本間 亮平・土居原 健
- 4C-2 WebGIS を用いた道路維持管理のための情報ポータルを検討
窪田 諭・菅原 貴衡・小澤田 貴泰・阿部 昭博

- 4C-3 携帯電話を用いたフィールドミュージアム案内システムの提案
工藤 彰・窪田 諭・市川 尚・阿部 昭博
- 4C-4 環境 NP0・NGO の活動支援に向けた WebGIS の開発と運用実現性の評価
大場 章弘・巖 網林

第1日目:10月23日(土) 第5会場:503教室

9:00~10:20 Session 5A 防災・防犯 1 司会:畑山 満則

- 5A-1 ハイチ地震で見られた地理空間情報技術の活用による災害対応支援の新動向
川崎 昭如
- 5A-2 OGC 相互運用技術と拡張現実技術を活用したスマートフォンによる災害リスク可視化システムの開発
臼田 裕一郎・田口 仁・長坂 俊成・東 宏樹・福本 豊
- 5A-3 国際消防救助隊活動支援のための空間情報通信システムに関する研究―ハイチ地震の震度分布及び建物被害分布の推定―
鄭 炳表・細川 直史・座間 信作・滝澤 修
- 5A-4 相互運用方式によって実現した高解像度衛星画像の参加型マッピング―ハイチ大地震を事例として―
田口 仁・臼田 裕一郎・長坂 俊成

10:50~12:30 Session 5B 防災・防犯 2 司会:熊谷 樹一郎

- 5B-1 情報通信技術を用いた防災訓練のあり方に関する考察
畑山 満則
- 5B-2 地域コミュニティにおける防災情報システムの定着化についての検討
臼井 真人・福山 薫
- 5B-3 空中写真を活用した自然災害に対する地域住民のリスクコミュニケーション手法
李 泰榮・田口 仁・岡田 真也・臼田 裕一郎・長坂 俊成
- 5B-4 e コミュニティプラットフォームを活用した災害ボランティア受援マップづくり
長坂 俊成・岡田 真也・田口 仁・李 泰榮・須永 洋平・臼田 裕一郎

16:00~17:40 Session 5C 歴史・考古 司会:碓井 照子

- 5C-1 方言分布から見た文化事象の流通と滞留―岐阜県における方言分布の事例―
小野原 彩香・藤本 悠
- 5C-2 水都大阪における歴史環境の分析
松村 隆範・吉川 眞・田中 一成
- 5C-3 大規模で構造的な遺構への遺構情報モデルの適用
村尾 吉章・碓井 照子・森本 晋・清水 啓治・清野 陽一・藤本 悠
- 5C-4 祭礼から見る都市空間の分析
石田 圭太・吉川 眞・田中 一成
- 5C-5 戦前の六大都市における小地域人口統計データベースの構築
桐村 喬

第2日目:10月24日(日) 第1会場:507教室

9:00~10:40 Session 1D 特別セッション:FOSS4G 利用例紹介

オーガナイザー:嘉山 陽一

- ・ GIS 学会 FOSS4G 分科会立ち上げの挨拶
- ・ FOSS4G2010 パルセロナカンファレンス報告
- ・ (独) 科学技術振興機構 (JST) 平成 21 年度企業研究者活用型基礎研究推進事業「オープンソース GIS と利用促進オープンシステムの研究」について
- ・ 文部科学省 衛星利用の裾野拡大プログラム:FOSS4G を活用した衛星データ利用のためのオープン・リソースの構築について
- ・ Open WPS platform 200 プロジェクトの紹介

- ・ Open Cafe System (OCS) の紹介
- ・ Alos for Amazon における FOSS4G の利用

10:50-12:30 Session 1E 特別セッション: 科研プロジェクト
「地理情報科学標準カリキュラムに基づく
地理空間的思考の教育方法・教材開発研究」

- 1E-1 地理情報科学標準カリキュラムに基づく地理空間的思考の
教育方法・教材 浅見 泰司
- 1E-2 地理情報科学 Body of Knowledge (BoK) の策定 貞広 幸雄
- 1E-3 地理情報科学標準カリキュラムに基づく教科書の作成
矢野 桂司
- 1E-4 ウィキを活用した GIS 教育の可能性 小口 高
- 1E-5 地理情報科学と空間的思考 若林 芳樹・石川 徹

13:30-15:30 Session 1F 特別セッション:
保健医療 GIS 研究の展開 1
オーガナイザー: 中谷友樹・貞広幸雄

- 1F-1 地区プロファイルによる新型インフルエンザの流行分析
木村 義成・齋藤 玲子・辻本 善樹・小野 靖彦・中谷 友樹・
菖蒲川 由郷・佐々木 亜里美・小熊 妙子・鈴木 宏
- 1F-2 社会地区類型に着目した花粉症有病率の地域差
— 日本版総合的社会調査 (JGSS) データによる分析 —
村中 亮夫・中谷 友樹・埴淵 知哉
- 1F-3 近隣ウォークアビリティと住民肥満レベルの関連性:
米国ユタ州ソルトレイクシティを例にして 山田 育徳
- 1F-4 GIS を用いた感染症媒介蚊の生息ポテンシャルの評価
米島 万有子・渡辺 護・二瓶 直子・
津田 良夫・中谷 友樹・小林 睦生
- 1F-5 がん早期診断の地理的格差: 大阪府がん登録資料の
小地域空間解析 中谷 友樹・井岡 亜希子・津熊 秀明

15:40-17:20 Session 1G 特別セッション:
保健医療 GIS 研究の展開 2
オーガナイザー: 中谷友樹・貞広幸雄

- 1G-1 軌跡データマイニングによる手術状況分析
奈良 温・和泉 潔・鈴木 孝司・伊関 洋
- 1G-2 移動体情報を活用した運動環境評価 梅崎 昌裕
- 1G-3 新潟市における救急サービスの地域格差と最適配置分析
佐々木 諭
- 1G-4 医療機関へのアクセスビリティの定量化による地域医療計画
の評価 福田 吉治・安岡 和昭・原田 唯成・中谷 友樹
- 1G-5 茨城県における診療所間の空間的競争
吉田 あつし・幸野 聡

17:30~18:00 閉会式、大会優秀発表賞の発表

第2日目: 10月24日(日) 第2会場: 508 教室

9:00~10:40 Session 2D データ構造・アルゴリズム

司会: 牧野 秀夫

- 2D-1 自律型フィーチャを用いた業務指向のアーキテクチャの開発
澤田 貴行・蔣 湧
- 2D-2 道路網上で距離に基づく k-NN 経路探索
橋本 知宜・Aye Thida HLAING・
藤野 和久・大沢 裕・曾根原 登

- 2D-3 地理オブジェクト同士の時間関係記述のための包括的な体系
太田 守重・倉田 陽平
- 2D-4 アクセス系集線の配備コスト最小化手法の構築 中山 悠

10:50-12:30 Session 2E 都市構造・広域分析

司会: 矢部 直人

- 2E-1 市町村通勤データを用いた都市圏設定
福本 潤也・北野 翔太
- 2E-2 エーレスンド橋架橋による国境を越えた都市圏形成への影響
山下 潤
- 2E-3 明治・大正・昭和初期における琵琶湖淀川流域の人口分布変化
山下 亜紀郎
- 2E-4 中国における鉄道貨物輸送量に影響を与える要因に
関する研究 王 雷・玉川 英則
- 2E-5 セルオートマトンによるバンコク首都圏における
一般廃棄物の発生分布予測
井内 正直・松林 健一・吉田 城治・松井 武史

13:30-15:30 Session 2F 経済・商業 1

司会: 山下 潤

- 2F-1 クラブの競合が J リーグシーズンチケット購買率の
空間需要に与える影響
庄子 博人・山崎 利夫・間野 義之・中村 好男
- 2F-2 トリップの経過時間に応じたトリップ目的の判別精度に
関する研究 島崎 康信・関本 義秀・柴崎 亮介
- 2F-3 日本の地方都市におけるフードデザートマップの作成と
その比較 駒木 伸比古
- 2F-4 ファッション雑誌を用いたアパレル店街の雰囲気の地図化:
東京 23 区の事例 多良間 りさ・磯田 弦

15:40-17:20 Session 2G 経済・商業 2

司会: 玉川 英則

- 2G-1 日本全土の商業集積地域の分布と集積ごとのチェーン店進出
状況の把握 秋山 祐樹・仙石 裕明・柴崎 亮介
- 2G-2 住宅地滲出型商業集積の形成に関する時空間分析
関口 達也・貞広 幸雄・秋山 祐樹
- 2G-3 取引価格と公的地価指標の比較を通じた地価情報提供の検討
井上 亮・中西 航・杉浦 綾子・中野 拓・米山 重昭
- 2G-4 衰退傾向にある商業集積地の抽出とパターン分類
〜全国の商業集積地を対象として〜
仙石 裕明・秋山 祐樹・柴崎 亮介

第2日目: 10月24日(日) 第3会場: 501 教室

9:00~10:40 Session 3D データ取得・精度 1

司会: 関本 義秀

- 3D-1 大都市圏広域における住宅地価格の分布図作成
嶋田 章・堤 盛人
- 3D-2 携帯電話用いた移動体モニタリング
藤野 和久・Htoo Htoo・大沢 裕・曾根原 登
- 3D-3 Mobile Mapping System を利用した地下埋設物設計図の作成に
関する効率化の評価 松村 一保・安井 嘉文・川本 紀夫
- 3D-4 経路履歴抽出の為のオフラインマップマッチング方式
路 琳・藤野 和久・大沢 裕・曾根原 登
- 3D-5 国勢調査基本単位区別集計データを用いた狭小商圏の人口推
計 — 町丁・字等別集計データとの比較 — 草野 邦明

10:50-12:30 Session 3E データ取得・精度 2		司会:堤 盛人
3E-1	路線情報を加味した位置特定の手法に関する研究 —道路関連情報の比較—	南 佳孝・関本 義秀・中條 覚・柴崎 亮介
3E-2	土地利用分類へのラクナリティ指標の適用	北田 圭吾・福山 薫
3E-3	Building Landform Classification Maps from DEM: Alluvial Fan Extraction Method	金 泰運・鄭 炳表・滝澤 修・細川 直史
3E-4	安価な路面平滑度測定機による障害物の位置推定及びその精度	大友 翔一・岡部 篤行
3E-5	MixedMapMatching 手法を用いた GPS データクリーニングサービス	薄井 智貴・中村 敏和・金杉 洋・関本 義秀・柴崎 亮介

13:30-15:30 Session 3F 観光		司会:川向 肇
3F-1	空間的再現性を考慮した観光ルートモデルのフレームワークの構築	川井 博之・山本 佳世子
3F-2	写真コミュニティサイトを使用した観光客数の推定方法について —Flickr を使用した京都の事例—	日高 亮太・磯田 弦
3F-3	観光行動としての写真撮影に着目した景観資源の探索と「みどころ」の抽出 —都立石神井公園を事例として—	杉本 興運
3F-4	駅空間の評価にもとづいた都市構成	野間田 享平・田中 一成・吉川 眞
3F-5	観光案内図の範域と地物からみた駅の浦の観光圏	鈴木 晃志郎
3F-6	あえて案内しない着地型観光案内—観光関心点データの抽出と活用	倉田 陽平・杉本 興運・矢部 直人

15:40-17:20 Session 3G 施設配置		司会:大沢 裕
3G-1	ネットワークボロノイ領域分割を用いた北海道の医療機関圏域に関する時空間分析	梅津 佳哉・橋本 雄一
3G-2	新潟市のコミュニティ施設についての行政サービスの量的分析とパブリック・アセットマネジメント	長谷川 普一・卯田 強
3G-3	選択行動からみた公共施設の接近性分析	津田 さやか・大佛 俊泰
3G-4	防災拠点としての学校施設の利用圏域に関する空間分析	稲垣 景子・佐土原 聡
3G-5	個人嗜好を考慮した訪問エリア選択支援システム実証実験	鈴木 綾子・伊藤 史子

第 2 日目:10 月 24 日(日) 第 4 会場:502 教室		
9:00~10:40 Session 4D 自然・環境 3		司会:磯田 弦
4D-1	水路網と植生分布との空間的関連性に着目した分析の試み	熊谷 樹一郎・水嶋 翔吾
4D-2	事業所間での排出量取引の可能性の検討	佐藤 弘樹・山本 佳世子
4D-3	網走川流域における土砂流出実態:林道網の影響評価	須貝 昂平・三島 啓雄・高田 雅之・柳井 清治
4D-4	地理空間情報を用いた種の多様性の広域的分布推定	高田 雅之・鈴木 透・北川 理恵・三島 啓雄・小野 理

4D-5 獣害低減対策視点から見た中山間農業地域の状況と課題
矢尾田 清幸

10:50-12:30 Session 4E 自然・環境 4		司会:高田 雅之
4E-1	道路縦断勾配の影響を考慮したエコルートによる自動車の燃料消費量削減に関する研究	李 勇鶴・佐藤 俊明・岡部 篤行
4E-2	北部九州遠賀川流域における完新統の三次元分布	池見 洋明・Tran Tu Anh・三谷 泰浩・月原 雅貴
4E-3	貯水池上流域における濁水発生要因の GIS による評価	郭 めい・三谷 泰裕・池見 洋明・石丸 真也・檀 博
4E-4	AHP を用いた自然管理地区における重要度メッシュの算出	有馬 貴之・倉田 陽平
4E-5	ロバスト回帰法による土地利用の長期時系列変化の検出:ベトナム北部の棚田開発の持続可能性の研究	磯田 弦・小林 祥子・サンガンゴイ カザディ・神田 竜也・グエン フー グー・金 料哲

13:30-15:30 Session 4F 空間移動・空間認知		司会:刀根 令子
4F-1	簡易 GPS ロガーとシール式日記を用いた子どもの行動調査法	雨宮 護・菊池 城治・畑 倫子・佐々木 誠・温井 達也・今井 修・原田 豊
4F-2	公共ホールの周辺環境分析	曾我 俊生
4F-3	形態素解析を用いた渋谷の地域イメージ研究	鈴木 健太
4F-4	GPS データに対する配列解析の援用	矢部 直人
4F-5	市街地におけるグラフィティライターの行動特性に関する研究—高円寺駅周辺を対象として—	布川 悠介・伊藤 史子
4F-6	展示空間における来場者の移動軌跡抽出と行動分析	田原 荘平・大佛 俊泰

15:40-17:20 Session 4G 居住・コミュニティ		司会:伊藤 香織
4G-1	京町家居住者に対する意識調査結果の地域傾向についての考察	松本 文子・瀬戸 寿一・飯塚 隆藤・矢野 桂司
4G-2	京における路地空間の把握	高岡 光太郎・吉川 眞・田中 一成
4G-3	都市居住者の「人付き合い」のための空間的移動行動	刀根 令子
4G-4	GIS 活用と市民参加による「みどりの実施計画」の策定	王尾 和寿・鈴木 雅和
4G-5	首都圏における不動産の高齢化に関する空間分析	川向 肇・岩場 貴司

第 2 日目:10 月 24 日(日) 第 5 会場:503 教室		
9:00~10:40 Session 5D 土地利用・都市解析		司会:佐土原 聡
5D-1	ポリゴン型土地利用データを用いた時空間分析	水谷 千亜紀
5D-2	人口分布と土地利用分布に基づいた広域的な市街地集積度について	熊谷 樹一郎・森 翔吾
5D-3	日常的施設の分類における主要要素の分析—土地利用分類の標準化へ向けて	花島 裕樹
5D-4	都市空間構造モデルの比較に関する基礎的研究	伊藤 香織

5D-5 つくば市の時空間データセットを用いた交通網と
沿線土地利用の時空間解析 小荒井 衛・中埜 貴人

10:50-12:30 Session 5E ポスター紹介セッション	
司会:高橋 信人	
P-1	災害情報収集・伝達システム 佐藤 壮紀・吉田 健一
P-2	航空レーザで把握した植生三次元構造による景観生態学的 解析 小荒井 衛・中埜 貴人・乙井 康成・佐藤 浩
P-3	オープンソースソフトウェア群で農村防災情報共有ジオ・ウェブ を普及させるための実証実験と問題点 山田 康晴
P-4	高密度 DSM を用いた列車無線シミュレーション 中嶋 幸宏・谷 憲樹・森 崇
P-5	東京 23 区の保育所需給の空間ミスマッチ 河端 瑞貴
P-6	九州におけるランドスケープ単位空間の検討 藤田 直子
P-7	絵図を歩こう江戸期の廿日市宿 〜GPS&PDA を使った歴史散策〜 三好 孝治
P-8	市民参加型調査による街路景観分析: 第 3 期京町家まちづくり調査を事例に 瀬戸 寿一・松本 文子・飯塚 隆藤・矢野 桂司
P-9	中国内モンゴル自治区ホルチン砂地内植林地における樹木成長と 立地条件の関係 木村 詩織・厳 網林
P-10	平安京の 3 次元景観モデルの構築 河角 龍典
P-11	空間的マイクロシミュレーションを用いた地震被害推定 花岡 和聖・中谷 友樹・亀井 千尋
P-12	四川大地震からの震災復興と都市整備の最新動向 吉次 翼・厳 網林
P-13	浸水被害常襲地区の空間特性に配慮した屋上緑化計画の検討 菊池 佐智子・奥水 肇
P-14	地理空間情報の水平位置座標の誤差要因分析 村上 真幸
P-15	道の駅の立地条件が経営状況に与える影響の分析 真鍋 佑紀・厳 網林
P-16	FOSS4G を活用した衛星データ利用のための オープン・リソースの開発 平敷 兼貴・森 亮・Venkatesh RAGHAVAN・嘉山 陽一・ 岩崎 亘典・吉田 大介・古橋 大地・Markus NETELER
P-17	ニホンジカと森林の統合的管理に向けた GIS データベースの 構築に関する研究 鈴木 透・山根 正伸・笹川 裕史・羽太 博樹
P-18	Interactive spatial planning, GIS Network Model, saving energy, and Tsukuba City ココ ルウィン・村山 祐司
P-19	An Integrated System for Preliminary Assessment of River Environment and Biodiversity in the East Tiaoxi River, China Ibrahim DJAMALUDDIN・Tatsuro SATO・ Yuichi KANO・Tetsukazu YAHARA・Yasuhiro MITANI
P-20	アクセス系集線の配備コスト最小化手法の構築 中山 悠
P-21	国際消防救助隊活動支援のための空間情報通信システムに関 する研究—ハイチ地震の震度分布及び建物被害分布の推定— 鄭 炳表・細川 直史・座間 信作・滝澤 修
P-22	原爆痕跡のフィールドワークと地図作成ワークショップによる 広島平和学習 竹崎 嘉彦・岩井 哲・太田 弘・ 川瀬 正樹・崎 将智・佐々木 緑
P-23	環境 NPO・NGO の活動支援に向けた WebGIS の開発と 運用実現性の評価 大場 章弘・厳 網林
P-24	GPS 鬼ごっこ中の行動特性と地域への印象変化の関係 前田 達也・上田 智翔・大場 章弘

P-25 戦前期における京都市内の公共交通流動

井上 学

13:30-15:30 Session 5F 防災・防犯 3		司会:福山 薫
5F-1	拡張現実技術を用いた位置情報に基づく家具の地震応答 シミュレーションに関する研究 佐藤 俊明・チャタクリ スバス	
5F-2	道路網に着目した植生分布の延焼遮断効果の分析 熊谷 樹一郎・相本 敬志	
5F-3	大地震発生初動期における就業者の出勤可能性について 玉野 沙織・大佛 俊泰	
5F-4	災害時住民避難支援システムの構築の可能性 有馬 昌宏	
5F-5	FOSS4G を利用した水害時避難経路探索システムの構築 嘉山 陽一	

15:40-17:20 Session 5G 防災・防犯 4		司会:臼田 裕一郎
5G-1	避難区域間における避難地の配置状況の広域的な分析 高木 孝文・熊谷 樹一郎	
5G-2	ネットワークボロノイ領域分割を用いた積雪都市における 避難場所収容能力の時空間分析 寺山 ふみ・橋本 雄一	
5G-3	国際海運における海賊活動の地理的特性分析 鳥海 重喜・渡部 大輔	
5G-4	建物壁面等の空間的属性を考慮したひったくり犯罪の分析 瀧澤 重志	
5G-5	安全情報共有を目的とした情報共有型 GIS の地域コミュニテ ィでの導入に関する研究 柳澤 剣・山本 佳世子	

- 各口頭発表の持ち時間は発表 15 分、質疑 5 分です。時間厳守をお願いいたします。また講演者は、セッション開始前に会場にて機器動作確認などの準備をお済ませ下さい。
- ポスターセッションは 10 月 24 日 12:30~17:20 に 1 階ロビーにて開催されます。発表者はセッション開始時までにポスターを設置し、またセッション 5E (第 5 会場 10:50-12:30) において口頭による発表の簡単な紹介をお願いいたします。
- 10 月の京都は、観光等による混雑が予想されます。宿泊等の手配は早めにお済ませになることをお勧めいたします (大会は立命館大学衣笠キャンパス、初日の懇親会のみ朱雀キャンパスにて開催いたします)。

■昼食 (お弁当) の予約と事前受付について

今年度は大会が土日に開催されるため、会場校付近の飲食店の多くは閉店しております。昼食は各自ご持参いただくか、予めお弁当を注文されることをお勧めいたします。

お弁当をご希望の方は、以下から申込書をダウンロードし、必要事項をご記入の上、学会事務局まで、FAX にてお送りください。

お申し込みとお支払いを確認後、10 月 12 日 (火) までにお弁当の引換券をお送りします。

http://www.gisa-japan.org/conferences/19/registration_2010.doc

FAX 受付および入金締切: **9 月 17 日 (金)**

※9 月 17 日の締切り期日までに入金が確認されない場合は、キャンセルとなります。

※当日、受付でのお弁当の注文はできません。

■ 第6回大会優秀発表賞

今大会でも研究発表大会における学生会員の発表レベル向上を図る目的で、学生会員を対象とした「大会優秀発表賞」を設けます。

選考対象者は講演発表者でかつ、修士号未修得の学生会員です。受賞候補者は、研究(論文)内容、発表技術の優秀者からセッション司会者が推薦し、学会賞委員会の中に設置される大会発表賞小委員会の議論を経て受賞者を決定します。受賞者数は特に定めません。

尚、発表受賞者には、賞状を後日送付すると同時に、GISAニューズレター76号に所属・氏名を発表します。

■ 機器展示

① 株式会社古今書院

展示:『都市の空間データ分析』『地理の授業にGIS』ほかGIS関連書籍

展示概要:GIS書籍の発行点数ナンバー1の出版社です。本学会の学術誌『GIS—理論と応用』の発売元にもなっています。今年も様々な事例を掲げて都市の分析手法を解説した『都市の空間データ分析』(張長平著)、低価格&フリーソフトを使った『いとちり式 地理の授業にGIS』(伊藤智章著)など新刊が続々登場。GISビギナーからミドルユーザまで、利用目的に応じた数々の書籍を展示し、すべて1割引で販売します。

② ESRI ジャパン株式会社

展示製品:ArcGIS 10

展示概要:完全リニューアルを果たしたArcGIS 10を展示いたします。

- ・使いやすさを追求したユーザ インターフェース
- ・地図描画やデータ処理パフォーマンスの大幅な向上
- ・画像解析の強化

※ 他の出展は、会場配布のプログラムに掲載してあります。

【学会からのお知らせ】

■ IT 理事会報告

・第12号(2010年6月25日)

初等中等教育におけるGISを活用した授業に係る優良事例表彰について、承認された。

【委員会報告】

■ 審査委員会

【久保 幸男】

去る6月29日に、国際航業本社において、平成22年度の審査委員会を開催しました。参加者は審査委員長の久保幸夫先生をはじめとして10名でした。議事は、幹事長の太田が司会を務め、事業報告に続いて、現在の審査制度に関する意見交換及び、本年10月から始まる更新手続きについて協議を行いました。結果として、現在の審査制度については、当面現状のままで運用すること、申請書式をより審査しやすい形式に改善すること、及び再審査のための申請は原則1ヶ月以内に行うこと、などが決まりました。また、更新については、有効期限の3ヶ月前から受付を開始し、有効期限後3ヶ月までは受け付けること、Webサイトにおいて、更新の該当者を示すこと、が決まりました。不明な点があれば、事務局にお

GISA-NL No.75 (2010/8/31)

問い合わせ下さい。

なお、8月1日現在のGISEE贈呈者数は8人、GISE認定者数は168人、教育認定件数29件です。 [文責 太田 守重]

【分科会報告】

■ FOSS4G 分科会

【嘉山 陽一】

例年秋にFOSS4G (Free and OpenSource Software for Geospatial or Geomatics)を題材としたいくつかのイベントが開催されます。オープンソースソフトウェアはインターネットを利用した世界的な協業で開発されていることが多いですが、ネットを通じた意見交換や共同作業だけではいろいろな情報や感じが伝わりやすいとはいえません。オープンソースソフトウェアの開発コミュニティでは大小のオフラインイベントを開催して共同作業にアクセントをつけてます。このようなイベントは開発者やヘビーユーザーにとっては更なる情報交換の場ですが、初心者や未利用者にとってはそのソフトウェアの機能や使い勝手を知るための絶好のチャンスです。この秋内外で開催されるFOSS4Gイベントは皆様が有用な空間情報ソフトウェアを見つけるいい機会になると思います。

本年設立したFOSS4G分科会の活動として学会学術大会でFOSS4Gに関する企画を開催させていただきます。学会大会でのセッションも含めてこの秋のFOSS4Gイベントを紹介させていただきます。

○ FOSS4G2010 OSGeo 財団 年次カンファレンス

9月6日-9月9日 スペイン バルセロナ

<http://2010.foss4g.org/>

The Open Source Geospatial Foundation (OSGeo)が開催する5回目の年次カンファレンスです。4日間にわたってFOSS4Gに関するWorkshop, Tutorial, Presentation が繰り広げられます。カンファレンスに参加できない場合でもWEBページで公開されるプレゼンテーション資料や動画を参照できます。

○ 地理情報システム学会学術大会

今年の本学会の学術大会でFOSS4G分科会として以下の2企画を開催させていただきます。

- ・特別セッション FOSS4G 利用例紹介

10/24 9:00-10:24 第1会場 507 教室

- ・特別企画 QuntumGIS+R 連携ハンズオンセッション

10/24 13:30-16:30

8月1日にV1.5がリリースされオープンソースのデスクトップGISとして評価が高いQuntumGISと多彩な分野で利用されているオープンソース統計ソフトウェアRを連携させる実習形式のセミナーを開催します。詳しくは以下のWEBページをご参照下さい。

<http://groups.google.co.jp/group/gisa-foss4g/web/quntumgisr?hl=ja>

○ FOSS4G2010 Tokyo Osaka

OSGeo 財団日本支部が開催する年次カンファレンスです。

FOSS4G2010 Tokyo

11月1日-2日 場所 東大駒場第2キャンパス

FOSS4G2010 Osaka 11月5日-6日 場所 大阪南港 ATC

ITM 棟 6F マーレギャラリー

(大阪は関西オープンソース2010内の企画として開催予定)

海外ゲスト

Paul Ramsy (PostGIS 開発の中心人物)

Jeff McKenna (MapServer OSGeo4W 開発の中心人物)

その他国内事例の発表、ハンズオンセミナー、ライトニングトーク等を開催予定です。詳しくは <http://www.osgeo.jp/> 内に設置される WEB ページをご参照ください。

皆様のご参加をお待ちしています。

■ 防災 GIS 分科会

【畑山 満則】

防災 GIS 分科会では、下記の研究フォーラムを後援しております。防災分野に興味をお持ちの方々のご発表、ご参加をお待ちしております。

第 5 回 防災計画研究発表会

ー地域防災のさらなる発展に向けてー

日 時—2010 年 9 月 24 日(金), 25 日(土)

場 所—京都大学 宇治おうばくプラザ きはだホール

発表申込締切り: 2010 年 9 月 6 日(月)

参加費: 無料(懇親会費は 3,000 円程度を予定しています。)

詳細は、下記の公式 HP をご覧ください。

<http://imdr.dpri.kyoto-u.ac.jp/IPwiki/index.php?forum2010>

【支部報告】

■ 中部支部

【奥貫圭一】

中部支部担当の名古屋大学地理学教室は、今秋、日本地理学会秋期学術大会開催校をつとめます。ついては、地理学会と GIS 学会との交流をはかるべく、地理学会大会の場を利用した下記の一般公開シンポジウムを開催いたします。会員の皆さまのご来訪をお待ちしております。詳細は、http://www.gisa-japan.org/regional_office/chubu/2010/101003symp.html をご覧ください。

シンポジウム『GIS をめぐる近年の研究動向』

【日時】2010 年 10 月 3 日 (日) 13:00~17:00

【場所】名古屋大学東山キャンパス全学教育棟

【プログラム】

〔趣旨説明〕13:00~13:10 奥貫圭一 (名古屋大)

〔第 I 部〕13:10~14:10 地理情報科学の基礎理論と応用
倉田陽平 (首都大): 旅行者行動支援における GIS の応用可能性

中谷友樹 (立命館大): 日本における中皮腫死亡の地理学的解析—空間疫学における空間データ解析と地理的視覚化—
貞広幸雄 (東京大): 領域間空間関係の分析: 手法の提案と地域イメージ解析への適用

石川 徹 (東京大): 空間・情報・人間をつなぐ学問としての地理情報科学

〔第 II 部〕14:20~15:20 GIS と社会、教育

大西宏治 (富山大): 工業高校での GIS を活用した授業実践—富山西高校の事例—

奥貫圭一 (名古屋大): ネットワーク空間分析ソフトウェアの開発研究

西村雄一郎 (奈良女子大): クリティカル GIS と日本の『空間情報社会』

森 亮 (OSGeo 財団日本支部): オープンソース GIS の紹介
〔紹介〕15:20~15:35

古橋大地 (東京大): ネオジオグラファーによるオープンストリートマップの発展状況

〔第 III 部〕15:45~16:30 歴史 GIS

平井松午 (徳島大): 家譜史料データベースを活用した城下

町の GIS 分析—徳島藩洲本城下町を例に—

塚本章宏 (立命館大): ハーバード大学地理解析センターにおける歴史 GIS プロジェクト

川口 洋 (帝塚山大): 日本における Historical GIS の研究動向と課題

〔総括〕16:30~17:00

村山祐司 (筑波大)

【学会後援・協賛行事などのお知らせ】

■ 共催 ■ 「全国縦断 地理空間情報活用促進セミナー 2010」

主催: NPO 法人全国 GIS 技術研究会

会期: 2010 年 10 月 6 日~11 月中

会場: オーキドホテル (小豆島) 他

詳細は... <http://www.npo-zgis.or.jp/>

■ 後援 ■ 「彩の国環境地図作品展」

主催: 彩の国環境地図作品展実行委員会

作品受付: 2010 年 9 月 13 日~10 月 1 日

会期: 2010 年 11 月 3 日~12 月 19 日

会場: 所沢航空記念公園管理事務所 他

詳細は... <http://www.ris.ac.jp/ecomap/>

■ 協賛 ■ 「チェンジの時代と都市の OR」

主催: 社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

会期: 2010 年 9 月 15 日

会場: コラッセふくしま (福島市)

詳細および参加申し込みは...

<http://www.orsj.or.jp/nc2010f/sympo.html>

※ 参加者は GIS 学会員である旨、お伝え下さい。参加費が OR 学会員と同様の取り扱いになります。

【事務局からのお知らせ】

■ 事務局の閉室について

学術研究発表大会の開催にともない、10 月 20 日 (木) ~24 日 (月) の間、事務局は閉室となります。メール対応も出来ませんので、ご注意ください。

■ 『GIS-理論と応用』掲載料の徴収について

(5 月 15 日総会・理事会決定)

2011 年度 1 月以降に投稿された論文から、以下の掲載料を徴収いたします。掲載料は採用決定者の方のみ生じますが、ご理解の上、投稿をお願いいたします。

○ 論文 (原著, 展望, データ, ソフトウェア)

1 件 30,000 円

○ 研究技術ノート

1 件 20,000 円

○ 評論, 解説等

1 件 10,000 円

※ 依頼原稿については掲載料は必要ありません。

また、掲載標準ページを超過した場合等に生じる料金を、同様に 2011 年 1 月以降に投稿された論文から、以下のように改めます。

○ 超過ページ料金

15,000 円/頁 (現在 10,500 円)

○ カラー刷り料金

35,000 円/刷り上がりの裏表 2 頁分 (現在 31,500 円)

○ 別刷り代

現行より 20%程度値上げ

学会分科会(SIG)連絡先一覧		
<p>●自治体：大場 亨（市川市道路管理課 Tel 047-334-1111 内線5564） E-mail: BZH06512@nifty.ne.jp</p> <p>●空間IT：有川正俊（東京大学空間情報科学研究センター Tel 04-7136-4291） E-mail: arikawa@ccs.is.u-tokyo.ac.jp</p> <p>●ビジネス：高阪宏行（日本大学 Tel 03-3304-2051） E-mail: kohsaka@chs.nihon-u.ac.jp</p> <p>●防災GIS：畑山満則（京都大学防災研究所 Tel 0774-38-4333） E-mail: hatayama@imdr.dpri.kyoto-u.ac.jp</p> <p>●土地利用・地価GIS：碓井照子（奈良大学） 事務局：西端憲治（㈱セイコー Tel 0721-25-2728） E-mail: totiriyo-sig@seicom.jp</p>		<p>●時空間GIS：吉川耕司（大阪産業大学 Tel 072-875-3001） E-mail: yoshikaw@due.osaka-sandai.ac.jp</p> <p>●地図・空間表現：森田 喬（法政大学 Tel 0423-87-6270） E-mail: morita@k.hosei.ac.jp</p> <p>●セキュリティSIG：川添博史（特定非営利活動法人GIS総合研究所） 事務局：国司輝夫（特定非営利活動法人GIS総合研究所Tel 06-6464-7077） E-mail: info@gissoken.org</p> <p>●自律分散アーキテクチャ：藤田晴啓（東洋大学 Tel 0276-82-9157） E-mail: fujita-hi@toyonet.toyo.ac.jp</p> <p>●FOSS4G分科会：Venkatesh Raghavan（大阪市立大学） 連絡先：嘉山陽一（朝日航洋㈱ TEL049-244-4032） E-mail: youichi-kayama@aeroasahi.co.jp</p>
<p>2010年7月末現在の個人会員 1346名、 賛助会員 75社</p> <p>(2口)NTT情報開発㈱</p> <p>(1口)アイエニウェア・ソリューションズ㈱、朝日航洋㈱、アジア航測㈱、いであ㈱、㈱インフォマティクス、㈱ウインディーネットワーク、㈱ウチダデータ、ESRIジャパン㈱、㈱NTTネオメイト、愛媛県土地家屋調査士会、応用技術㈱、㈱大阪府都市工学情報センター、大阪土地家屋調査士会、オートデスク㈱、㈱オオバ、かごしまGIS・GPS技術研究所、㈱かんこう、関東甲信越東海GIS技術研究会、㈱岐阜県建設研究センター、九州GIS技術研究会、協同組合くびき野地理空間情報センター、近畿中部北陸GIS技術研究会、㈱こうそく、幸陽測量設計㈱、国際航業㈱、国土情報開発㈱、㈱古今書院、寿精版印刷㈱、GIS総合研究所、GIS総合研究所、北き、㈱GIS関西、ジェイアール西日本コンサルタンツ㈱、㈱JPS、㈱ジオテック関西、㈱ジャスミンソフト、㈱昭文社、㈱数理システム、㈱ゼンリン、㈱総合システムサービス、㈱大設、㈱谷澤総合鑑定所、玉野総合コンサルタント㈱、中四国GIS技術研究会、テクノ富貴㈱、東京ガス㈱、東武計画㈱、東北GIS技術研究会、㈱ドーン、内外エンジニアリング㈱、長野県GIS協会、にいがたGIS協議会、日本エヌ・ユー・エス㈱、日本情報処理開発協会、日本スーパーマップ㈱、㈱日本測量調査技術協会、日本土地家屋調査士会連合会、㈱日本地図センター、パシフィックコンサルタンツ㈱、㈱パスコ、㈱日立製作所中央研究所、北海道GIS技術研究会、㈱マップクエスト、㈱松本コンサルタント、三井造船システム技研㈱、㈱三菱総合研究所、三菱電機㈱、ヤフー㈱、㈱リモート・センシング技術センター</p> <p>自治体会員：(1口)大阪府高槻市役所、大阪府豊中市役所、経済産業省特許庁、総務省統計局統計研修所、長野県環境保全研究所、福岡県直方市</p>		<p>■ 編集後記 ■</p> <p>前号の熊谷先生とともに2年間ニューズレターの編集を担当することになりました。どうぞよろしくお願い致します。今号は第19回研究発表大会のお知らせが中心の内容ですが、大会当日の昼食申込み情報をお知らせするために、例年よりも半月ほど早く発行させていただきました。原稿をお寄せいただいた方々にはタイトなスケジュールでの執筆をお引き受けいただきありがとうございます。会員の皆様とは秋の京都でお会いできることを楽しみにしております。</p> <p>(文責:畑山満則(京都大))</p>
地方支部の連絡先一覧		
<p>2010年度～2011年度の地方支部は以下のとおりです。</p> <p><北海道支部> 支部長：北海道大学 橋本 雄一 Tel：011-706-4019 E-mail: you@chiri.let.hokudai.ac.jp</p> <p><東北支部> 支部長：岩手県立大学 阿部 昭博 Tel：019-694-2562 E-mail: abe@iwate-pu.ac.jp</p> <p><北陸支部> 支部長：新潟大学 牧野 秀夫 Tel：025-262-6749 E-mail: makino@ie.niigata-u.ac.jp</p> <p><中部支部> 支部長：名古屋大学 奥貫 圭一 Tel：052-789-2233 E-mail: nuki@lit.nagoya-u.ac.jp</p>	<p><関西支部> 支部長：大阪工業大学 吉川 眞 連絡先：田中一成（大阪工業大学） Tel：06-6954-4293 E-mail: gisa@civil.oit.ac.jp</p> <p><中国支部> 支部長：広島工業大学 岩井 哲 Tel：082-921-5486 E-mail: s.iwai.i5@it-hiroshima.ac.jp</p> <p><四国支部> 支部長：愛媛大学 堤 純 Tel：089-927-9305 E-mail: jtsu@ll.ehime-u.ac.jp</p> <p><九州支部> 支部長：鹿児島大学 山崎 利夫 Tel：0994-46-5362 E-mail: yamazaki@nifs-k.ac.jp</p> <p><沖縄支部> 支部長：琉球大学 宮城 隼夫 E-mail: miyagi@ie.u-ryukyuu.ac.jp 連絡先：有銘政秀（(株)ジャスミンソフト） Tel：098-921-1588 E-mail: arime@jasminesoft.co.jp</p>	<p>地理情報システム学会ニューズレター</p> <p>第75号 ●発行日2010年8月31日</p> <p>■発行 一般社団法人 地理情報システム学会事務局 〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル4階 TEL/FAX 03-5689-7955 E-mail: office@gisa-japan.org URL: http://www.gisa-japan.org/</p> <p>■ 弥生雑記 ■</p> <p>平安文化華やかかなりし千年前、今回の大会会場である立命館大学衣笠キャンパスのある辺りは、「洛外」でした。京都の郊外だった訳です。上流貴族の別荘や私寺が点在し、また格好の隠棲の地として知られていました。一方、懇親会会場である朱雀キャンパスは、朱雀院（退位した天皇の御在所のひとつ）や貴族が氏族別に営む大学別荘（私的な寄宿舎）に囲まれた場所にあったようです。</p> <p>つまり、大会に参加なさる皆さんは、貴族の別荘地で学問に励み、貴族の子弟の寄宿舎で交歓なさるようなものではないか、と…？（世が世なら）</p> <p>ちょっぴり優雅な気持ちを残して、10月の京都でお目にかかれまことを、楽しみにしています。</p> <p>(学会事務局)</p>